JICAだより

「JICA海外協力隊」をご存知ですか？開発途上国で現地の人びとと共に途上国の課題解決に取り組むことを目的とし、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施されている事業です。現在、甲賀市から派遣先のブラジルで活躍されている方の声をお届けします。

ブラジルからの活動紹介① ～地球の裏側に日本？～

はじめまして！私は今、JICA日系社会ボランティアとして２年間ブラジルの日本語学校で日本語を教えています。本誌にて３回連載で活動紹介をさせていただくことになりました！意外と知らないブラジルのことを現地からお送りします！

新元号「令和」を書きました

日本の真裏にあるブラジル。実は日本と深い繋がりがあります。今から１１０年前に多くの日本人がブラジルに移住し、その子孫が今もブラジルに暮らしています。その人たちを“日系人(Nikkei)”と言い、現在ブラジルには約２００万人の日系人がいます。そのため、ブラジル各地に日系コミュニティがあり、日本語学校も多く存在します。ブラジルの日本語学校の多くが、日系人に日本語や日本文化、日本人のルーツを大切にしてほしいという移住した日本人の思いから創設されました。その中の一つが私の活動地であるピンダモニャンガバ日本語学校です。生徒は小学生～６０歳代、家族に言われて通う生徒や日本語・日本文化に興味がある生徒、日系人やブラジル人、目的も人種も様々です。

日系人が多く住むブラジルでは、スーパーに日本食材が売られていたり、焼きそばを売るお店があったり、カラオケ大会や運動会が開催されたりしています。ここまで日本を感じさせる国が地球の裏側にあるとは思いもしませんでした。私たち日本人が知らないところで、実は日本が存在しているんです。

（JICA日系社会ボランティア　近藤ゆみ）

父の日に歌のプレゼント

2019年度　日本語教室

今年４月の改正入管難民法施行で新設された在留資格「特定技能」により、外国人労働者が急増すると言われていましたが、全国的にもまだ少なく、滋賀県や甲賀市においては、「技能」や「高度人材」などで来日し、在住されている方も増えてきたように思います。

ボランティアの皆さんによって支えていただいている当協会の日本語教室でも、出身国や在留資格も多様化し、学習希望者が増え、月曜のお昼の教室や土曜の夜の教室どちらも、とても賑やかになってきました。

月曜の「虹」教室では、前期（4月1日～7月8日）12回で、のべ69名のボランティアにより、学習者のべ74人が日本語を学ばれました。また、その間、ボランティアの自主的な学習会も開催されました。さらに、個別で対応していただいた日本語教室には、のべ73人が来られ、日本語の学習を支援していただきました。

「虹」の教室の様子。少人数での学習支援が行われています

土曜の「にんじゃ日本語教室」では、Ⅰ期（4月13日～6月22日）6回で、のべ75名のボランティアにより、のべ213人が学習をされました。さらに、Ⅱ期の教室においても、Ⅰ期を上回る学習者で会場があふれました。

また、にんじゃ日本語教室と日本語交流チームが行っている「にほんごおしゃべりクラス」では、観光、健康、台風、ゴミなど、毎月１回、テーマを変えて日本語で交流しながら生活に役立つ日本語を学習しています。４月～９月までのおしゃべりクラスには、のべ250人の学習者やボランティアが参加しました。

ここで学んだ「避難」や「警報」などの言葉が、「命」を守ることにもなり、県内でも注目されている取組みです。

現在、甲賀市内で日本語教室を行っているところが当協会しかなく、市内の企業で働いておられる方の日本語学習支援もボランティアの皆さんが支えているのが現状です。

日本語ボランティア養成講座を開催し、ボランティアを増やす努力と日本語が学べる場を増やす試みも必要になってきています。「日本語ボランティア」に関心のある方は、お気軽に事務局にお問合せください。

防災（台風）をテーマに行った「にほんごおしゃべりクラス」で防災マップを見ながら自分の住んでいる地域の避難所を確認している様子

Together

人の成長過程で交流って大切な要素！と思って活動に参加しているはずなんです◎文化交流、地域交流、人事交流、国際交流etc あっ男女交流も▲ところが多忙な毎日に、交わらずに行事をこなし流しているだけの交流になってませんか◇行き来することや付き合うことが交流ですが、そこには気持ちのやり取りが絶対に必要です■ピビッとくるものがあって初めて交流と言える、電気の交流の語源はここから？まさか○令和の時代が幕を明けました。様々な交流に参加して成長していきましょう。（T）

甲賀市国際交流協会　事務局　〒528-0005　甲賀市水口町水口6053　甲賀市役所　別館2階
TEL：0748-63-8728　FAX：0748-70-6468　月～金9：00～17：30

甲賀市国際交流協会広報部
TEL:0748-63-8728 FAX:0748-70-6468
Email: mifa@mx.biwa.ne.jp
URL: https://kis-koka.org

第50号
2019年11月発行

KIS通信

2019年度　甲賀市国際交流協会通常総会開催

「甲賀市まちづくり活動センター　まるーむ」で、2019年度　通常総会を６月２日（日）に開催し、上程した議案をすべて承認いただきました。ご参加の皆様にお礼申し上げるとともに、手を携えて多文化共生の地域づくりや国際化に貢献してまいりましょう。

外国人人口が増加傾向にあることはご存じのとおりですが、入館法の改正により拍車がかかりそうです。近年の特徴は、多国籍化と定住化にあり、滋賀県内の数値を見ても、在住外国人の国籍は100か国を超え、70%以上の方が在留資格を取得されているようです。甲賀市の外国人人口は12月末で3350人、総人口の約3.7%にあたります。

「支援する」考え方から脱皮し、「地域の担い手仲間」を意識する時を迎えていると言えます。

今年度から、異文化を持つ人々を受容できる共生する力を育成することを目的として、「国際理解部会」を「国際教育部会」に名称変更することになりました。世界まなびじゅくやハロウィンパーティー、グローバルセミナーなど、好評の例年行事もどのように様変わりすることができるか、お楽しみに。

中島会長の挨拶

外国人を含む誰もが円滑に共生できるまち、多様な人々が活躍する魅力的なまち、誰一人として置き去りにしないまち、そんなまちづくりは協会の努力だけでは達成できません。市、地域団体、市民活動団体、企業、福祉関係団体、教育機関等と、効果的な連携を図りながら、承認された方針や諸活動に取り組んでいくことを確認する総会となりました。「令和」に込められた「beautiful harmony」、甲賀市に暮らす多様な人々が、もっともっと輝くことで美しいハーモニーがあちらこちらから聞こえてくることを願います。

なお、2015年度から理事に就任いただきました渡辺朋夫さんが退任されることになりました。ご尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

外国人市民による日本語スピーチ＆ミニ交流会

総会終了後に開かれた催しに、勇気を出して、人によっては楽しく、壇上に立たれたのは5か国6人の方々。緊張の中にも、率直な意見を聞くことができ、日本人が気付かない視点に頷いている会員も多くおられました。悩むことなく楽しい毎日を暮らしていくには、やはり言葉の壁は想像以上に高いことに、改めて気付かされました。

スピーチ大会でなるほど！と思う事も必要ですが、日常生活で耳を傾ける姿勢も大切だと感じた方も多くおられたのではないでしょうか。

市内の企業で働くボーイさん

2019年度の主な今後の事業

内　　容	実施予定日　他
●総務広報・会員交流・情報交流・会議等	
KIS通信・お知らせ版　発行・発送	編集会議随時開催
ＫＩＳ公式ホームページ制作・管理	随時
韓国利川市文化院訪問団受入	12月13日～15日
ミシガン州3都市・甲賀市中学生交流事業サポート	事前研修、午後のプログラム等
姉妹都市・友好都市との交流事業	随時
利川文化院歓迎交流会	12月14日（土）
●市民交流事業	
国際交流サロン・おしゃべりカフェ（日本語おしゃべりカフェ）等	随時
国ふぇす2019 in Koka vamos viajando en maROOM	12月8日(日)11：00-16：00 まるーむ
●国際教育事業	
小学生のための国際理解講座　「世界まなびじゅく」	第2回12/8　第3回2月
大人の「世界まなびじゅく」	予定
語学講座（中国語）	10/27～５回　開催中
外国につながりを持つ子どもたちの学習サポート	毎月第1、第3土曜日
●地域交流事業	
地区の文化祭、地区懇等での多文化共生の取り組み推進・協力等	随時
●ともにいきる地域づくり事業	
多文化共生に関する研修受入、講演等	随時
グローバルセミナー	２月～３月頃
●日本語交流事業・日本語学習支援に関する事業	
にんじゃ日本語教室（土曜夜）とのタイアップ	おしゃべりクラス
やさしい日本語出前講座	随時
日本語サポーター・ボランティア養成講座	予定
他地域の日本語教室との交流・情報交換	随時
●日本語教室	
にんじゃ日本語教室（土曜夜）	18回/年、おしゃべりクラス
日本語学習支援ボランティアグループ「虹」	9回/年、イベント 24回/年、他個別対応
●災害時多言語支援事業	
甲賀市災害時多言語情報センター設置に関する会議、	多言語情報センター設置・運営マニュアル検討、研修、訓練等
甲賀市災害時多言語情報センター専用ホームページの運営・管理	随時
災害時多言語支援・外国人支援関連の研修・情報交換会等への参加	随時
市や地域での防災訓練等への協力・参加	予定
●翻訳・通訳等	
翻訳（日本語↔外国語）	随時
通訳（日本語↔外国語）　人材、サポーター紹介等	随時
●その他	
国際協力、復興支援協力等	随時

2019年6月2日に開催致しました通常総会にて、4人の新しい理事にご就任いただきました。

＝新理事ひとこと＝　メッセージ

★この度、協会の理事に就任させて頂きました服部です。今日まで、外部から当協会の活動を拝見させて頂いておりました。今回役員となり協会の目的等を確認させて頂きました。その内容等に沿った活動等を行いながら、皆様方と共に推進したいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

★これまで、中学生国際交流事業での引率、ミシガンの市長さん、校長先生、引率の先生のホストファミリーなどで、甲賀市国際交流協会の事業に関わる中で、貴重な学びや体験をさせていただいてきました。中学校や教育委員会事務局勤務の経験を活かし、理事としてお手伝いができればと**思**っています。どうぞよろしくお願いいたします。(西村)

★この度、理事を拝命いたしました水口町に本社のある㈱日立建機ティエラの篠原と申します。当社では12か国、約400名の外国籍の方々に勤務いただいており、当社で大きな力となっています。本協会の活動を通じて日本人と外国籍の方々が共生する地域づくりを少しでもお手伝いできればと**思**いますのでよろしくお願いいたします。

★この度理事に就任いたしました橋本渓太郎です。中学生の時、姉妹都市交流事業に参加して以来協会の活動に参加してきました。平成生まれの最年少理事として新しい風を吹かせたいと**思**います。そのためにも一緒に活動していただける同世代の仲間を増やすことが１つ目のミッションです。協会の活動に少しでも興味を持って頂けたなら一緒に活動しませんか？よろしくお願いいたします。

2019年度　役員名

顧　　問	大　橋　淳　一	
顧　　問	西　本　信　也	
会　　長	中　島　教　芳	
副 会 長	野　口　喜代美	(地域交流部部長)
副 会 長	植　西　禮之輔	(情報交流部部長)
運営委員長	古　谷　兼　一	(国際教育部部長)
理　　事	水　谷　敦　子	(国際交流部部長)
理　　事	大　谷　五十二	
	阿　部　公　子	
	池　田　吉　希	
	高　野　由　美	
	上原ジャンカルロ	
	林　　初　広	
	蓮　見　昌　寛	
	関　　純一郎	
	浜　田　麻　里	
	坂　本　正太郎	
	曽　田　　玲	
	服　部　金　次	(新任)
	西　村　文　一	(新任)
	篠　原　教　文	(新任)
	橋　本　渓太郎	(新任)
監　　事	髙　田　信　男	
	出　口　芳　子	
事務局長	大河原　佳　子	

(順不同・敬称略)

甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」大好評!!

甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」は、オープン以来たくさんの市民が集っておられます。この「まるーむ」は、市民活動団体や区・自治会、自治振興会など、まちづくりを進めようとする団体をはじめ、甲賀市民一人ひとり誰もが気軽に使える「みんなの居場所」として作られたもので、当協会の活動も、この「まるーむ」を使うことが多くなりました。

オープニングイベントにペルー・ブラジルのお店を出店

事務所移転　きずなから市役所別館２階へ

甲賀市国際交流協会の発足以来、一角を事務所として利用してきた「自主活動センターきずな」が閉館となり、利用ができなくなりました。登録団体だけでなく、市内の様々な人が集い、つながり、まさに「絆」が生まれた場所でした。改めて感謝の思いでいっぱいです。

また、このことに伴い、当協会の事務所が市役所別館に移転しています。場所がわかりにくいとのご指摘もいただき恐縮ですが、「きずな」のとき同様、気楽におこしいただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

【移転先】甲賀市役所別館２階

電話：0748-63-8728
※前と同じ
FAX　：0748-70-6468
※新番号

水口子育て支援センター主催　インターナショナルサークル

外国人のお母さんやお父さん、未就園児を対象としたインターナショナルサークルが毎月１回行われています。第１回目の６月２８日には、子ども７人　大人６人　計１３人が参加し、子育てのことや、日々のわからないこと、困っていることなどを話しました。

７月、９月と回を重ねるごとに参加する親子も増え、名前通り国際色豊かな子育てサークルとなっています。今年度は３月まで毎月行われます。甲賀市国際交流協会も、この取組みを応援しています。

１回目のインターナショナルサークルの様子

――7/6（土）　世界まなびじゅく(1)台湾――

今回は李秀珠(りしゅうじゅ)さんと山本秀子さんをお迎えして台湾を紹介しました。18人の小学生がまちづくり活動センター「まるーむ」に集まりました。

まずは、面積、人口、文化などについての台湾クイズに挑戦。正解すると、台湾通貨「元」のおもちゃの紙幣を賞金としてゲットです。次は、その賞金やお小遣いを使いながら台湾一周すごろく。サイコロの目に従って、観光地や夜市などのポイントを回ります。各ポイントでは、台湾茶の試飲、李秀珠(りしゅうじゅ)さん手作りの蕊油餅(つぁいょうびん)を試食、太極拳にチャレンジ、山本秀子さん手作りの「天燈(てんとう)」に願い事を書いたり、台湾のダム建設に尽力した日本人技師の八田與一(はったよいち)さんのお話を聞いたり、様々な体験をしながら、台湾の文化を日本にいながら感じてくれたことと思います。

最後は絵本おじさんから台湾の保安宮(ほうあんぐう)のお話しを聞きました。台湾文化を体験した後なので、お話の雰囲気がより一層伝わったと思います。きっとみんな台湾に行ってみたくなったことでしょう。

――小さな交流から始まる多文化共生――

市内に住む地域住民による交流会「希望ケ丘ポットラックパーティー」が７月７日（七夕の日）に開催されました。

この交流会は当協会会員が主催になって昨年１月から始めて８回目になり、参加者各自が一品を持ち寄り、おしゃべりしながら気軽に楽しむものです。今回開催された交流会では日本をはじめ、ブラジル、ペルー、中国、ベトナム出身の方30人（幼児含む）が参加され、料理の話から子育てや子どもの教育、防災まで様々な話題が飛び交いました。

主催者側に外国人住民がいることと気軽に開催できることがこの交流会のポイントだと思います。ぜひ他の地域でも広がることを願っています。